【記入例】妻が夫(被保険者)の申請を行う場合

帳票ID 621 0 0 0 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7

介護保険 要介護認定・要支援認定申請書 (新規・更新・変更・転入

広 良 市 長

	次のどおり申	請しま	す。	. , ,	いをして囲みより	9 .		
	申請者氏名	2	17	太島 花	子	本人との関係	③ 妻	
	提出代行者 名 称	該当に〇(地	域包括支援センター	指定居宅介護支援事	業者・指定介護老人福祉が	施設・介護老人保健施設・地域	密着型介護老人福祉施設・介護医療院)	
	申請者住所	(5) T	F730-858	86	往所・電話番号は 丁目6番34	電話番号	082 (504) 2363	
	フリガナ (,	ヒロシマ	タロウ	個人番卷7	 	9 9 9 9 9 9	
被			広島	大郎	1	性別 元号 1男 2女 2 3昭和	: 1 5 1 1 0 1	
	住 所	₹ 730 _(8)	⊢8586 I	広島市中区	国泰寺町一	電話番号 「目6番34号	082 (504) 2363	
係	*	更新・変更		状態区分 1	2 3 4	5 要支援状態区	5分 1 2	
	現在(前回)の	のみ記入(9 有効其	月間	令和 年	月 日から令和	年 月 日まで	
険	要介護状態区分 (認定結果)等	14日以内に 他自治体か		自治体 (市町村)	_			
		転入した者のみ記入(ቔ_ 現任、	転出元自治体/ ^{眼通知を受け取っている場}	ie l	爰認定を申請中です		
者	香 変更申請の理由							
	(変更時のみ記入)	(11)	1					
	12 所・入院施設名 短期入所を除く)	施設名	0	×病院	所在地	広島市中区国泰	寺町一丁目4番21号	
([3] 主 治 医	主治医の 氏名	山口	次郎	医療機関名	0	×病院	
		所在地	₹ 730 -	- 8587 	+co++	電話番号	082 (504) 2136	
矢	医療保険情報			仏島市	中区国泰守 型	<u> </u>	1号	
14)	除者名(※該当に☑)		保険者番	号		被保険者		
Ĭ	広島県国民健康保険	3 4	4 0		記 番 号		枝番	
	広島県後期高齢者医療広域連合	3 9	3 4 1	0 1 1	1 2 3	4 5 6 7	8	
	その他	T						
第	I 32号被保険者(40歳	から64歳6	の医療保険加.	入者)のみ記え	(
第 5)	日 32号被保険者(40歳 特定疾病名	から64歳0	の医療保険加	入者)のみ記り	<u> </u>			
章 5)	特定疾病名							
第 5	特定疾病名 要介護認定・要支 ① 介護サービス	援認定申請 計画の作成 ³	を行うにあたっ	て、下記事項に同 きの適切な運営の	1意します。 ひために必要なとも	きは、その計画を作成	する者に要介護認定・要	
5	特定疾病名 要介護認定・要支 ① 介護即定に係る ② 主治医意見書	援認定申請 計画の作成。 調査内容、 を記載した	を行うにあたっ [*] 等介護保険事事 判定結果、主治 医師に、判定者	て、下記事項に同 をの適切な運営の 治医意見書を提信 法果を通知する。	1意します。 りために必要なとき 共すること こと			
[<u>5</u>]	特定疾病名 要介護認定・要支 ① 介護サービス 支援認定に係る 同 ② キ治医意見書 の維持・改善を の維持を	援認定申請 計画の作成。 関査内容、 を記載 要支! を当、め、!	を行うにあたっ 等介護保険事項 判定結果、判定 援1 又は要支援 地域包括支援も	て、下記事項に同 まの適切な運営の 合医意見書を提合 計算を通知する。 まることなった場合 まるとなった場合 まるとなった場合	「意します。 うために必要なとき はすること こと さ、介護予防ケアマ を結果等を提供する	マネジメントにより生 5こと	活機能低下の防止や状態	
5) 1	特定疾病名 要介護認定・要支 ① 介護サービス・フ 支援認定に意見書 ② 主治定転果の書 の維持・改請を ④ (更新申酌の場面を省略するこ	援認定申請。 申請を申求・ を作物で、 をを表した。 を改善を表した。 を改善を表した。 を改善を表した。 をなるのみ。 まるのみ。 まるのみ。 まるのみ。	を行うにあたっ 等介護保険事項 判定結果、判定 援1 又は要支援 地域包括支援も	て、下記事項に同 まの適切な運営の 合医意見書を提合 計算を通知する。 まることなった場合 まるとなった場合 まるとなった場合	「意します。 うために必要なとき はすること こと さ、介護予防ケアマ を結果等を提供する	マネジメントにより生 5こと		
5) 1	特定疾病名 要介護器定・要支 ・要を ・要を ・変援器とでいる。 ・要を ・変援器とでいる。 ・変援器とでは、 ・変援器とできる。 ・変援器とできる。 ・変援器とできる。 ・変援器とできる。 ・変数の維持事中間の ・変数のを ・変数を ・変数のを ・変数を ・変を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変数を ・変を ・変数を ・変数を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を ・変を	援認定申請は 計画の作容は 優を対したは を映当、ため、対 をあるのみ) 現	を行うにあたっ 等介護保険事項 判定結果、判定 援1 又は要支援 地域包括支援も	て、下記事項に同 はの適切な運営の 治医意見書を提信 おこれを通知な場合 まととなった場合 まという一に、判別 期間内に認定を	別意します。 うために必要なとき はすること こと たり 静野防ケアマ き 結果等を提供する 行うことができる	マネジメントにより生 5 こと ときは、 認定までの ! ;) 本人の依頼に基づ	活機能低下の防止や状態 『込み期間等を通知する書	

- ※ 介護保険被保険者証の原本を添付してください。原本を紛失の場合は、介護保険被保険者証等再交付申請書を添付してください。 申請書の提出先は、お住まいの区の福祉課高齢介護係です。
- ※ 主治医に主治医意見書の作成の同意を得た上で申請を行ってください。申請を受け付けた後、区役所から申請書に記載された主治医に
- ※ 対して、意見書の提出を求めます
- 申請を受け付けた後、市または市が委託した事業所等の認定調査員がご自宅等へ伺い、日頃の心身の状況等について本人や家族等へ聞

※ き取り調査を行います。

介護保険被保険者証(40歳から64歳の方は、お持ちの方のみ)を添えて、 お住まいの区の介護保険担当窓口または出張所に申請してください。

<記入上の注意事項(表面)>

①『被保険者番号』欄

介護保険被保険者証の被保険者番号を記入します。

②『申請者氏名』欄

申請書を提出される方(窓口に来られる方)の氏名を記入します。

③『本人との関係』欄

申請書を提出される方(窓口に来られる方)と被保険者の関係を記入します。 【記入例】本人、夫、妻、父、母、子、孫、代理人など

④『提出代行者名称』欄

提出代行者による代行申請の場合のみ記入します。該当する項目に○をし、事業所・施設名を記入しま す。(提出代行者による代行申請の場合は、②・③欄の記入は不要です。)

⑤『申請者住所』欄

申請書を提出される方(窓口に来られる方)の住所を記入します。 (申請者が被保険者本人の場合は記入不要です。)

⑥『被保険者氏名・性別・生年月日』欄

性別と元号は該当する番号を記入します。生年月日は右づめで記入します。

⑦『個人番号』欄

被保険者本人の個人番号を記入します。

以下の書類が必要となります。

(1)個人番号確認書類(例:個人番号カード 等)(2)本人(又は代理人)の身元確認書類(顔写真がないものは2点) (例:介護保険被保険者証、年金手帳等)(3)委任状(代理人による申請の場合のみ)

⑧『住所』欄

住民票または在留カードの住所地を記入します。

『現在(前回)の要介護状態区分(認定結果)等』欄

- ⑤ 更新・区分変更申請の場合に現在お持ちの要介護状態区分と有効期間を記入します。
- 14 日以内に他自治体から転入した方のみ記入します。

⑪『変更申請の理由』欄

区分変更申請の場合のみ記入します。

①『入所・入院施設名』

現在、入所・入院している施設名を記入します。ただし、短期入所(ショートステイ)は除きます。

(13)『主治医』欄

- ・主治医意見書の記載をお願いする主治医の氏名・医療機関名・所在地を記入します。
- ・複数の医療機関にかかっている場合は、介護が必要な状態の直接の原因となっている疾病を治療して いるなど、被保険者本人の状態をもっともよく知っている医師名、医療機関名、所在地を記入します。

(14) 『医療保険情報』 欄

- ・該当の医療保険者名に☑、医療保険者番号、医療保険被保険者番号を記入します。
- ・第2号被保険者(40歳から64歳の方)については、区役所福祉課が医療保険の加入関係を確認し ます。詳細は、裏面の注意点(2)を確認してください。

① 『特定疾病名』欄

- 第2号被保険者(40歳から64歳の方)のみ記入します。
- ・16種類の特定疾病のどれに該当するか、主治医に疾病名をよく確認し記入します。

16 『本人氏名』欄

・被保険者本人が記名します。本人が記名できない場合は、代筆者が記名をし、右の代筆者氏名欄に氏 名・本人との関係を記入します。

※裏面もあります。

622

認定調査連絡票

□医療保険加入確認(第2号:40~64歳) 被保険者証の回収(□有・□無・□再交付)

受付確認欄		受付者:
認定調査依頼先	□包括・□居宅 記入不要)
電話番号 <u>(</u>		
主治医意見書⇒□	□自宅・□直送・□施設・□窓口渡し【本人・家族・ケアマネ・その他()]
	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、介護保険施設が調査する場合には ⊂☑し、()に記入してください。	記入不要です。
	□居宅	
	☑入院先(②×病院) 病棟(A病棟2F)	
	入院開始日 (20××年 4月 1日) 病名 (大腿骨骨折)
1 調査場所	転院予定 □無・□有➡(年 月 日頃)転院先()
	退院予定 □無・☑有➡ (××年 ×月 20 日頃)	
	□施設()	
	口その他()住所()
2 生活状況	□独居 ☑同居(配偶者のみ) □同居()
③調査立会人	□無 ☑有 ➡氏名(②×病院田中看護師) 続柄(看護師)
3 調且立去八	電話番号(082-504-2363) ※日中連絡がとれる電話番号を記入してください	۰,۱۰
4)連絡先	□本人 □調査立会人 ☑その他 (②×病院佐藤相談員)
(1) 连相儿	電話番号(082-504-2136) ※日中連絡がとれる電話番号を記入してください	۰,۱۰
(5)本人の状況	認知機能の低下(☑無 □有)	
3/本人の1人が	難聴(☑無 □有➡筆談や手話が必要ですか □必要 □不要)	
6)その他(心身も	や生活の状況などを記入してください)	

第2号被保険者の方で「資格情報のお知ら せ | 又は「資格確認書 | の写しを提出する場 合は、こちらに貼り付けをお願いします。

<記入上の注意事項(裏面)>

受付確認欄は区役所福祉課で記入します。

申請者記入欄を以下のとおり記入します。

代行申請を行う居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、介護保険施設が調査を実施する場合には、申請者記入欄の 記入は不要です。

① 『調査場所』欄

- ・居宅、入院先、施設、その他のうち該当するものにレます。
- ・調査場所が入院先の場合、入院先の名称、病棟、入院開始日、病名、転院・退院予定の有無や日付を記入します。
- 調査場所が施設の場合、施設名を記入します。
- ・調査場所が子の自宅等、住民票住所とは異なる場所の場合は、その他を選択し住所等を記入します。
- ② 『生活状況』欄

独居、同居(配偶者のみ)、同居()のうち該当するものに☑します。

③ 『調査立会人』欄 調査立会人の有無を記入します。有の場合は、調査に立ち会う方の氏名、続柄、日中連絡がとれる電話番号を記入しま

④ 『連絡先』欄

日程調整の連絡先として該当するものに□します。調査立会人以外の場合は、日中連絡がとれる電話番号を記入します。

- ⑤ 『本人の状況』欄
 - ・認知機能の低下の有無を記入します。
 - ・難聴の有無を記入します。有の場合は、筆談や手話が必要かどうかを記入します。
- ⑥ 『その他』欄

心身や生活の状況などを具体的に記入します。

〇注意点

(1)入退院・入退所等で生活場所が変更となった場合、原則1週間以上経過してからの調査となります。 (2)第2号被保険者(40歳から64歳の方)については、医療保険加入関係の確認をマイナンバー制度による情報連携等 で行うため原則、医療保険の資格情報が確認できる書類の添付は不要です。ただし、当該情報連携等で確認を行えない場 合は、次のとおり確認を行います。

・窓口で申請する場合

マイナ保険証を保有している場合

次の1・2のいずれかを準備してください。

- 1 スマートフォン等でマイナポータルからダウンロードした「医療保険の資格情報画面」又はマイ ナポータルにアクセスして医療保険の被保険者資格情報が表示された画面を提示してください。 ※ マイナポータルへのログインには、マイナ保険証と数字4桁の暗証番号の入力が必要です。
- 2 医療保険者が交付する「資格情報のお知らせ」又は「資格確認書」の写しを提出してください。

マイナ保険証を保有していない場合

医療保険者が交付する「資格確認書」の写しを提出してください。

郵送で申請する場合

医療保険者が交付する「資格情報のお知らせ」又は「資格確認書」の写しを提出してください。

(3)40歳以上で、要介護・要支援認定(申請中も含む)を受けていた方が転入された場合は、転入日から14日以内に要 介護度を引き継ぐための申請をしてください。前住所地で受給資格証明書の交付を受けた場合は提出してください。

۲ な 2 合 則 1 以 F τ か ь മ 調 査 な

が